

2016年5月10日

各位

上場会社名	朝日工業株式会社
代表者	代表取締役社長 村上 政徳
(コード番号	5456)
問合せ先責任者	常務取締役管理本部長 矢口 誠
(TEL	03-3987-2161)

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「平成28年3月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、2011年3月期より4期連続の当期純損失を計上し、また、2014年2月15日の雪害影響(注)もあり、2014年3月期より継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しているとして「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当該状況を解消すべく、各事業において、販売数量の拡大、製造原価および販売管理費の一層の削減と効率化を図るなど、様々な施策を実施してまいりました。この結果、本日発表の平成28年3月期決算短信に記載のとおり、当連結会計年度におきましては、売上高は36,348百万円(前連結会計年度比2.4%増)、営業利益は1,915百万円(前連結会計年度比367.9%増)、経常利益は1,931百万円(前連結会計年度比454.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,503百万円(前連結会計年度比355.5%増)と前年同期を大幅に上回る利益を計上し、累積損失も一掃いたしました。また、2017年3月期の業績予想につきましても、引き続き、営業、経常、当期純利益とも黒字を見込んでおります。

株主をはじめとするステークホルダーの皆さまには大変ご心配をおかけいたしました。現時点で継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在していないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

当社は、2016年度より、3か年の中期経営計画(ASAHI 2018プロジェクト)をスタートいたしました。今後も更なる業績の向上および企業価値の増大に努めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注)当社埼玉工場の製鋼工場屋根の一部に座屈被害が発生し、2014年6月18日まで製鋼工場の操業停止。

以上